

IR Report



株式会社フォーサイド
第17期 報告書
2016.1.1-2016.12.31

株主の皆様へ／TOP MESSAGE

株主の皆様には平素より格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用、所得などは引き続き堅調に推移しているものの、熊本地震等に伴う生産停止の影響や、英国のEU離脱問題などによる為替や株価の不安定さが懸念され、依然として先行き不透明な状況が継続しております。一方で当社の事業領域である、スマートフォン向けビジネスを取り巻く環境につきましては、2016年12月末時点で携帯電話契約数は1億6,070万件（社団法人電気通信事業者協会公表）と引き続き順調に推移しております。

このような経済状況の中、当社グループは、今後の企業価値向上を目指し、2014年10月にお知らせいたしましたとおり（2014年10月3日付「会社分割（新設分割）による持株会社体制への移行に関するお知らせ」）、持株会社と事業会社を分離することにより、新規事業の開始及びM&Aによる事業拡張を円滑かつ効率的に行えるよう企業再編を実施し、新たな事業ポートフォリオを構築し、業容の拡大及び、事業リスクの分散を進めてまいりました。

前連結会計年度においては6期連続の営業損失並びに親会社株主に帰属する当期純損失となり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象が存在しておりましたが、当連結会計年度においては、その解消に向け事業体制の再構築やM&A、業務提携を推進し事業の黒字化及び当座の運転資金の確保による財務基盤の安定化など種々の対策を講じてまいりました。

その結果、従来からの主力事業である電子書籍の販売が堅調に推移したことに加え、前連結会計年度より開始した不動産事業や投資銀行部門の収益が連結業績に寄与したことにより、2009年12月期以来7年振りに営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を確保いたしました。

また、更なる業容拡大のため、2017年3月31日に株式会社ブレイクの全株式を取得し子会社化することを予定しております。

こうした状況を総合的に検討した結果、今後においても安定した収益確保と財務体質の改善が見込まれることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性を抱かせる状況は認められないものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象」の記載を、解消することにいたしました。

株主の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、今後も、既存事業の強化及び相乗効果を勘案し、更なる業績向上と企業価値の増進に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年3月

代表取締役社長 假屋 勝

再生プロセスの完了

- 営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化達成

当社グループ新規事業である、不動産事業や投資銀行部門の収益が拡大し連結業績に寄与したため、第2四半期連結累計期間より、**7年振りの黒字転換を達成**した。

- 継続企業の前提に関する重要事象等の記載解消

新規事業（投資銀行・不動産・貸金事業の確立）、既存事業（モビぶっく及びauスマパスの拡大）、業務提携（新浪国際日本グループ“微博”等）、資本政策の推進（転換社債の償還による有利子負債圧縮）により、継続企業の前提に重要な不確実性を抱かせる状況は認められないものと判断し、**GC注記記載解消**を実現。

事業の推進：既存事業（不動産事業）

不動産収益物件取得
(2016年12月：大阪市福島区所在)



不動産収益物件取得
(2017年1月：東京都中央区月島所在)



不動産事業の強化と安定的な収益の確保を促進
不動産の売買と、収益物件確保を両建てに展開

事業の推進：既存事業（コンテンツ事業）

4月：BAD ENDの新規採用



10月：ランニング応援ゲーム ねんしょう! 2
の追加採用



新たなコンテンツの拡充による、
スマートフォン向けアプリケーション販売事業を拡大

事業の推進：既存事業（コンテンツ事業）



女性向けオウンドメディア「Verygood」のサービスを開始
月間50万人超のユーザーが訪れ、広告収入を獲得

グループ[°]再編

(デジタリオの譲渡)



エンタテインメントコンテンツ事業主軸の戦略性を勘案、
コンテンツ企画・制作内製化、自社原版コンテンツ拡充に
経営資源の集中及び財務体質の強化を図る方針と決定し、
グループ事業構造の見直しを行い譲渡を実行

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (2016年12月31日現在)	前連結会計年度 (2015年12月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	768,842	749,955
現金及び預金	334,886	382,203
売掛金	53,168	105,522
営業貸付金	42,896	69,723
短期貸付金	284,366	72,526
前渡金	31,214	127,174
未収消費税等	16,596	9,543
その他	12,728	17,154
貸倒引当金	△7,015	△33,893
固定資産	436,579	22,278
有形固定資産	2,366	1,280
無形固定資産	17,720	2,203
ソフトウェア	14,482	1,300
その他	3,238	903
投資その他の資産	416,492	18,794
投資有価証券	30,000	0
敷金	9,022	11,175
長期貸付金	109,192	20,135
長期未収入金	46,387	56,902
投資不動産	280,786	—
その他	0	0
貸倒引当金	△58,897	△69,419
資産合計	1,205,421	772,233

科 目	当連結会計年度 (2016年12月31日現在)	前連結会計年度 (2015年12月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	122,748	121,477
買掛金	21,484	38,006
未払金	19,178	48,249
未払法人税等	18,558	9,744
1年内返済予定の長期借入金	6,176	5,184
契約解除損失引当金	—	3,274
事業整理損失引当金	25,508	—
組織再編引当金	12,133	—
その他	19,708	17,018
固定負債	186,913	229,985
長期借入金	169,154	7,224
転換社債型新株予約権付社債	—	200,000
利息返還損失引当金	17,758	22,761
負債合計	309,662	351,462
(純資産の部)		
株主資本	889,291	405,105
資本金	525,289	299,999
資本剰余金	1,623,803	1,398,513
利益剰余金	△1,257,510	△1,291,582
自己株式	△2,292	△1,825
その他の包括利益累計額	△455	153
為替換算調整勘定	△455	153
新株予約権	6,682	15,262
非支配株主持分	240	249
純資産合計	895,759	420,770
負債純資産合計	1,205,421	772,233

■ 連結財政状況

当連結会計年度末における純資産は前連結会計年度末に比べて474,998千円増加し、895,759千円となりました。主な要因といたしましては、新株予約権の行使による資本金、資本準備金の増加450,579千円と親会社株主に帰属する当期純利益34,072千円の計上によるものであります。

連結財務諸表

● 連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当連結会計年度 (2016年 1月 1日から 2016年12月31日まで)	前連結会計年度 (2015年 1月 1日から 2015年12月31日まで)
営業収益	935,987	756,899
売上高	733,612	745,075
その他の営業収益	202,374	11,824
営業原価	501,610	426,280
売上原価	373,224	426,238
その他の原価	128,386	41
売上総利益	434,376	330,619
販売費及び一般管理費	410,293	540,141
営業利益又は営業損失（△）	24,083	△209,522
営業外収益	24,505	16,807
営業外費用	6,675	23,700
経常利益又は経常損失（△）	41,912	△216,415
特別利益	120,308	14,470
特別損失	113,767	276,346
税金等調整前当期純利益又は税金 等調整前当期純損失（△）	48,453	△478,292
法人税、住民税及び事業税	14,381	3,320
当期純利益又は当期純損失（△）	34,072	△481,613
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失（△）	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）	34,072	△481,613

● 連結株主資本等変動計算書（要旨）

当連結会計年度（2016年1月1日から2016年12月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	299,999	1,398,513	△1,291,582	△1,825	405,105	153	153	15,262	420,770
当期変動額									
親会社株主に帰属する 当期純利益			34,072		34,072				34,072
自己株式の取得				△528	△528				△528
自己株式の処分				62	62				62
新株予約権の行使	225,289	225,289			450,579			△8,580	441,999
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						△608	△608	△8	△617
当期変動額合計	225,289	225,289	34,072	△466	484,185	△608	△608	△8	474,988
当期末残高	525,289	1,623,803	△1,257,510	△2,292	889,291	△455	△455	6,682	895,759

● 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当連結会計年度 (2016年 1月 1日から 2016年12月31日まで)	前連結会計年度 (2015年 1月 1日から 2015年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,994	△355,666
投資活動によるキャッシュ・フロー	△567,803	△134,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,544	589,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	207	△2,581
現金及び現金同等物の増減額 （△は減少）	△47,316	96,542
現金及び現金同等物の期首残高	382,203	285,661
現金及び現金同等物の期末残高	334,886	382,203

■ 連結損益状況

主軸である(株)モビぶっく運営の電子書籍サービスが堅調に推移したことに加え、オウンドメディア「Verygood」のサービスを開始。当サイトには月間50万人超のユーザーが訪れており、広告収入を獲得いたしました。

また、前事業年度より開始したグループ各子会社の新規事業である不動産事業や投資銀行部門の収益が拡大し、連結業績に寄与したため、営業収益全体においては、前事業年度比123.7%の増収となりました。

今後の更なる事業拡大を目的として2017年度に行う組織再編に伴うオフィス増床の費用を「組織再編引当金」として見積もり、2016年度中の損失として計上したことにより特別損失12百万円が発生いたしました。各子会社の事業案件が拡大したため、2009年12月期以来7年振りの黒字化を達成することができました。

会社概要

商 号 株式会社フォーサイド
本店所在地 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号
設 立 2000年3月31日
資 本 金 5億2,528万9,736円
代 表 者 代表取締役社長 假屋 勝
従 業 員 数 10名
事 業 内 容 コンテンツ事業、その他事業

＜フォーサイド グループ＞

- 株式会社モビぶっく
<http://www.forsidebook.com/>
- フォーサイドメディア株式会社
<http://www.forside-m.co.jp/>
- フォーサイドリアルエステート株式会社
<http://www.forside-re.co.jp/>
- フォーサイドフィナンシャルサービス株式会社
<http://www.forside-fs.co.jp/>
- 株式会社ブレイク
<http://www.forsidebook.com/>



株式の状況

発行可能株式総数 62,380,000株
発行済株式の総数 25,281,504株
株主数 30,309名
※2016年12月31日現在

フォーサイドグループサービス一覧

<電子書籍事業>

- モビぶっく

<http://s.mobi-book.com/>



<スマートフォン向けアプリ配信事業>

- スマホ最適化Plus

https://pass.auone.jp/app/detail?app_id=1287910000002

- Destroy Gunners SP

https://pass.auone.jp/app/detail?app_id=1287910000001

- 筋トレ応援ゲーム ねんしょう！

https://pass.auone.jp/app/detail?app_id=1287910000005

<https://pass.auone.jp/web/detail/?id=1287980002228>

- ランニング応援ゲーム ねんしょう！2

https://pass.auone.jp/app/detail?app_id=1287910000007

- シェイプアップ応援ゲーム ねんしょう！for Girls

https://pass.auone.jp/app/detail?app_id=1287910000008

<https://pass.auone.jp/web/detail/?id=1287980002483>



<インターネット媒体運営事業>

- 恋するアナタを応援！恋活・婚活メディア Verygood

<http://www.verygood.la/>



<アミューズメント機器用景品の製造・販売>

- 大人の女性に向けたブランド『ノスタルジアガール』

<http://www.breakprize.com/petitta>

- 自動車メーカーブランド商品の『BV～Break Vehicle』

<http://www.breakprize.com/breakvehicle>



